

県立明石公園の概要

1. 明石公園の概要

- 公園種別：広域公園
- 計画面積：54.8ha
- 開園面積：54.8ha



(1) 概要

明石公園は、明治 16 年（1883）に民営明石公園として開設されたが、明治 31 年（1898）に御料地編入により廃園となった。大正 7 年（1918）に中央の城址一帯を借り受け、再び県立公園として開設した。昭和 4 年（1929）に御料地全域の払下げを受け、昭和 7 年（1932）に現在の 54.8ha を開設したのち、戦後、運動施設等が整備され現在に至る。

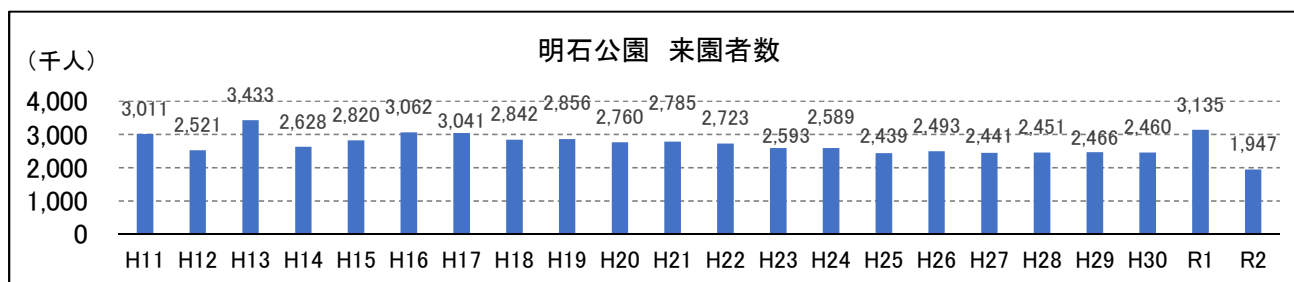
明石公園は、城跡のほぼ全域を公園化したもので、公園区域の約半分が国史跡に指定されている。また、国指定重要文化財である巽・坤櫓や石垣、堀などの遺構を保全しており、明石城を目的に来園される観光客が増加している。また、全国大会が開催される野球場等の運動施設も有しているほか、約 200 種類にも及ぶ樹木のほか、野鳥や昆虫等も多く見られる。「日本の都市公園 100 選」、「さくら名所 100 選」、「日本 100 名城」、「日本の歴史公園 100 選」に名を連ねる兵庫県を代表する都市公園である。

また、令和元年（2019）には、明石城築城 400 周年を迎え、明石城の更なる知名度向上と地域振興を目的とし、築城 400 周年記念事業を盛大に開催した。

公園名	明石公園（あかしこうえん）
開設年月日	大正 7 年（1918 年）4 月 15 日
面積	計画面積：54.8ha、開園面積：54.8ha
種別	広域公園
主な施設	明石城（巽櫓、坤櫓）、花と緑のまちづくりセンター、明石城武蔵の庭園、野球場（第 1、第 2）、陸上競技場、テニスコート、球技場、自転車競技場、ローンボウルスコート、子どもの村、こども広場、サービスセンター、駐車場

(2) 来園者数

過去 20 年程度の来園者数は、櫓が復旧完成した平成 12 年度の翌年度に最大となっている。その後、武蔵の庭園整備（平成 15 年（2003））及び明石城跡の国史跡指定（平成 16 年（2004））後の平成 16 年度に増加し、その後はイベントの開催数により入園者数は前後するものの 250 万人程度で推移している。令和元年度には明石城築城 400 周年記念事業を実施したことから来園者数が 313 万人に増加した。





陸上競技場



ローンボウルスコート



千畳芝



明石城(巽櫓、坤櫓)



テニスコート



第1野球場



明石城武蔵の庭園



自転車競技場

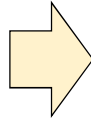
2. 明石公園における近年の取り組み

令和元年に築城 400 周年を迎えた明石城跡を核に、城跡の樹木伐採、アプリの開発、石垣ライトアップを実施し、歴史資産としての価値をさらに高め、県民から愛される公園を目指している。

①城跡の樹木伐採（H29 年度～）



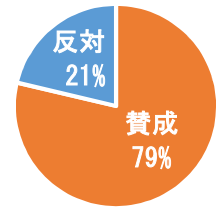
生い茂った樹木による景観阻害



樹木伐採による景観向上

[アンケート結果]

- ・石垣がきれいですね。
- ・奥行きが分かってとてもいい。
- ・駅から良く見え、現代的。



②石垣ライトアップ(R2 年度～)

現在、ライトアップを行っている坤～巽櫓間の石垣に加え、樹木伐採によりその全容が把握可能となった櫓南側の石垣全てについても、LED 照明によるライトアップに取り組んでおり、令和 4 年 3 月に完成予定である。今後も、櫓西側のライトアップの検討を行う。



ライトアップ(櫓南側)

③明石城アプリの開発（R1 年度）

往時の明石城を高精細に再現した 3 DCG をスマートフォン等で閲覧するとともに、現地にきて散策する中で、主な歴史的建造物を体感したり、謎解きゲームを楽しみながら明石城の知識を深めてもらえるアプリを開発した。



明石城跡の復元 CG



AR による風景再現

④埋蔵文化財の試掘調査（R2 年度）

今後の公園整備に向け、史跡指定区域外の3箇所（自転車競技場、陸上競技場、千畳芝）において試掘調査を行った。引き続き、史跡区域外の試掘調査を進め、公園としての整備の方向性を定めていく。

◆調査結果

自転車競技場：深さ 30cm が遺構面であり、不整形の土坑や柱穴状の遺構が検出された

陸上競技場：深さ 50cm が遺構面であり、柱穴や溝状の遺構が検出された

千 畳 芝：遺構は検出されなかった